

地域・企業のリアルな課題解決に
チャレンジ！



火5限



地域協働演習

教養科目
「協働教育科目」
後期

2016年大河ドラマの舞台！ 九度山・橋本で、 今開発すべき商品とは？



- 真田幸村グッズ開発
- パイル織物の新商品
- 食のプロデュース
- 観光コース開発



科目名	地域協働演習	
担当教員	木村亮介、尾久土正己、中島敦司	
講義室	G101	
備考	全学部・全学年 人数制限有(419名) 【進路と職業】取得者は受講不可	※LiveCampusより「抽選履修登録」をしてください

地域・企業のリアルな課題解決・企画立案に取り組むことで、社会的な価値を生み出す“仕事”について体験的に考え、自己成長する講義です。

地域の行政・NPO・企業等と連携し、PBL(課題解決型学習)を行うことで、「世の中で価値を生み出すとは」、「働くとは」、「チームの相乗効果を引き出すとは」、「課題解決・企画立案の思考方法とは」、「実際に物事を進める難しさとは」、「顧客満足とコストのバランスとは」、「自らの長所・短所とは」等について問題意識を持ち、学び考える中で自分を見つめ成長していく経験を積みます。自己成長とキャリアデザインの考え方を学びながら、実際の「仕事」に近い活動を経験することで、今後の学生生活とキャリアビジョンを描く材料を培います。

自己満足や思い付きではなく、実社会における課題・ニーズをいかに捉え、異なる背景や価値観を持つ人と協働し、リサーチによる客観的な根拠に基づいた解決策・企画を論理的に考え、熱意を持って提案することができる力は、どのような分野で働くとしても、学問・研究においても重要な姿勢だと言えます。他の関連科目を含め、大学にいる間だけでなくあらゆる仕事や人生を通じて役立つ知識やスキルについて学びますので、結果として就活などにも大きく役に立ちます。特に、実践型インターンシップや地域・企業と連携した「自主演習プロジェクト」等に参加することを考えている学生は、この講義を受講しておいてください。

グループでのワークを基本とし、全員で協力し高めあっていきます。授業時間外でのグループ活動も含め、積極的な姿勢で参加をお願いします。とにかく本気で、そして楽しんで取り組んでください。

※「基礎協働演習」(前期科目)「ソフトスキル論」(集中講義)での経験・学びを応用する講義ですが、それらを受講していなくても履修可能です。また「和歌山企業トップ経営論」(後期科目)も受講すると和歌山の他の企業についても知ることが出来るのでお勧めです。

回	日	内容
1	10/6	オリエンテーション
2	10/13	「企業・組織」「事業・仕事」「社会人」について考える／チーム結成
3	10/20	地域・企業課題提示(ミッション発表)
4	10/27	課題解決フレームワーク／企画ワーク
5	11/10	マーケティング・事業立案フレームワーク／企画ワーク
6	11/17	企画ワーク
7	11/24	中間提案・フィードバック
8	12/1	中間振り返り・目標の見直し
9	12/8	企画ワーク
10	12/15	企画ワーク
11	12/22	プレゼンテーションについて／プレゼン練習
12	1/8(金)	最終提案(プレゼンテーション)
13	1/12	評価・講評、チーム内での振り返り・フィードバック
14	1/19	体験からの気づきと今後への応用を考えるワーク
15	1/26	様々な機会を知り、今後の学生生活と具体的なアクションを考える

到達目標

- ・「基礎協働演習」での経験や「ソフトスキル論」の知識を応用し、成果(社会的価値)を生み出す思考行動特性を高めること
- ・自己満足や思い付きではなく、他者・社会の課題やニーズを分析し、それらの解決に貢献できることを考える姿勢を持つこと
- ・他者・社会に貢献する面白さ・難しさを感じ、自らがどのように貢献できる人材になるかを考えること
- ・社会人として必要な「ビジネス」や「仕事」の基本的視点を学ぶこと
- ・社会で求められることを意識し、目的意識と向上心を持って大学での学びに取り組むこと
- ・実践型インターンシップや自主演習プロジェクトなど更に本格的に社会に関わる活動に取り組む意欲を持つこと